

## VI. 履修申請

### 1. 履修申請制度

履修申請とは、授業科目を履修する（→ 授業科目を受講し、単位修得を目指して学修する）ための手続きのことです。履修申請を行わなければ、仮に授業に出席していたとしても、試験を受けることや単位を修得することはできません。

履修申請は、各学期当初の定められた期間に行う「学修計画の基礎」となるものであり、すべて自分の責任において行う必要があります。履修申請の際には綿密に履修計画を立ててください。

### 2. 履修申請単位数の上限（CAP制度）

本学では、単位制度の趣旨に基づき、下表（1）のとおり、学部別に履修申請できる単位数の上限を定めています（CAP制度）。この上限を超えて履修申請を行うことはできませんので、注意してください。

ただし、（2）に記載のとおり、入学年度ごとに履修申請単位数の上限に含まれない科目が定められています。これらの科目についても確認したうえで、卒業までを見通した履修計画を立てるようにしてください。

#### （1）履修申請単位数の上限

学部	入学年度	学 年			
		1年次	2年次	3年次	4年次
地域経営学部	2026年度以降	46単位	46単位	46単位	46単位
情報学部	全入学年度共通	46単位	46単位	46単位	46単位

#### （2）履修申請単位数の上限に含まれない科目

次の科目は、履修申請単位数の上限に含まれません。

- ア 不定期に開講される科目（集中講義など）
- イ 福知山公立大学履修規程に定める教職科目 ※
- ウ 他大学単位互換科目
- エ 下表に示す科目

※教職科目の一覧は「Ⅷ\_資格取得等」に掲載している「6. 教職課程」をご確認ください。

ただし「教育原理」は基盤教育科目（統合知基盤科目群）に配置されている科目であるため、

「イ 福知山公立大学履修規程に定める教職科目」には含みません。

学科	履修申請単位数上限に含まれない科目
地域経営学科	実用英語、海外語学研修Ⅰ、海外語学研修Ⅱ、国際フィールドワーク、地域キャリア実習Ⅰ、地域キャリア実習Ⅱ
情報学科	実用英語、海外語学研修Ⅰ、海外語学研修Ⅱ、インターンシップ実習Ⅰ、インターンシップ実習Ⅱ

### (3) 履修申請単位数の変動について (変動型CAP制度)

前年度のGPAが3.0以上である場合、(1)で定める履修申請単位数上限より**4単位拡大**して履修申請することができます。

## 3. 履修申請の要件

---

有効な履修申請を行うためには、次に定める要件を意識し、すべて自分の責任において履修申請を行ってください。

履修申請の内容に誤りや漏れがあった場合、本学が定める履修申請期間外に履修申請の内容を修正することはできません。単位修得や卒業要件に影響する場合がありますので、担任教員や指導教員等に相談のうえ、十分注意して履修申請を行うようにしてください。

- ① 必修科目は配当されている年次に必ず履修申請してください。
- ② 所属年次に配当されている授業科目以外に、下級年次に配当されている授業科目を履修申請することができます。ただし、諸事情により不開講となる場合や、開講するセメスターを変更する場合がありますので注意してください。
- ③ 履修申請は、各学期初めのガイダンス等で公開する時間割表を確認しながら行ってください。
- ④ 重複申請 (同一時限に2科目以上を履修申請すること) はできません。
- ⑤ 二重申請 (すでに単位を修得している授業科目を再度履修申請すること / 同時に同一科目を2科目以上履修申請すること) はできません。
- ⑥ 各年次において定められている履修申請単位数の上限 (CAP制度) を超えて履修申請することはできません。

## 4. 履修申請の手順

---

履修申請は、各学期初めに設けられる履修申請期間中に、ポータルサイトから行ってください。その際、「各種てびき (本誌含む)」「時間割表」「シラバス」等を必ず参照してください。

履修申請に関する詳細については、各学期初めに実施するガイダンスにおいて説明します。

## 5. 履修申請に係るサポート体制

---

履修申請を行ううえで、不明な点や相談したいこと等があれば、「担任教員」もしくは「指導教員」に相談するようにしてください。「担任制度」及び「指導教員制度」の詳細は「V. 授業及び担任・指導教員制度」を参照してください。

## 6. 履修申請上の留意事項

---

### (1) 再履修クラス

授業科目によっては、再履修クラスが設定されています。配当されている年次に当該科目の単位を修得できなかった場合は、時間割表を確認のうえ、該当する再履修クラスを履修申請してください。

### (2) 履修者数の制限

授業科目の中には、その性格上、または設備・座席等の都合により、履修者数を制限する科目があります。具体的には、外国語科目や体育実技、実習科目が該当します。なお、これら以外の科目であっても、履修者数を制限する場合がありますので、履修申請にあたっては、シラバス等を必ず確認してください。

### (3) 履修申請の削除

履修申請の削除期間内に所定の手続きを行うことで、履修申請済みの授業科目を削除することができます。履修申請を削除した授業科目は、GPAの計算には算入されません。

ただし、履修申請の削除はポータルサイトで行うことができません。履修申請済みの授業科目を削除する場合は、履修申請の削除期間内に、教務係窓口にて手続きを行ってください。

履修申請の削除期間については、各学期初めのガイダンスで説明をよく聞き、履修申請の削除が可能な日程を必ず確認してください。期限後の申請は、一切受け付けません。

### (4) 授業科目の不開講等

「IX. 各学部・研究科の科目配置表」に掲載している授業科目であっても、やむを得ない事情により、不開講（当該年度に開講しない）とする場合があります。この場合は、各学期初めのガイダンス等を通じて周知します。また、履修申請者数が5名未満となった授業科目については、当該科目を不開講とする、または同一科目の別クラスと統合する場合があります。さらに、終講科目（開講が終了となる科目）が生じる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

### (5) 隔週開講の授業科目

授業科目によっては、隔週（2週間に1回）で開講する科目があります。ポータルサイトによる連絡あるいは科目担当教員の指示に従って受講してください。

### (6) 集中講義

集中講義とは、通常授業期間には授業をせず、所定の期間（夏季および冬季）に授業を行うものです。夏季に開講する集中講義の単位は前学期の成績に反映され、冬季に開講する集中講義の単位は後学期の成績に反映されます。

## (7) 多様なメディアを高度に利用した授業

本学では、全授業回数のうち半数以上の回で多様なメディアを活用して実施する授業方式（以下「メディア授業」という。）により実施する授業があります。具体的には、ビデオ会議システムを利用したリアルタイムの双方向性型の授業等です。メディア授業を受講して付与された単位は、最大60単位まで卒業要件単位数として認められます。なお、全授業回数のうち半数未満の回で多様なメディアを活用して実施する場合、その授業は対面授業として扱われます。

## (8) 他大学等で修得した授業科目の単位認定

本学では、教育上有益と認められた場合には、以下の単位が認定されることがあります。卒業要件に含むことができる単位数には上限がありますので、教務係までお問い合わせください。

- ① 他の大学又は短期大学との協定及び大学コンソーシアム京都の行う単位互換事業に基づき、授業を履修し、修得した単位
- ② 協定等を締結していない外国の大学又は短期大学に留学し、修得した単位
- ③ 短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修及びその他文部科学大臣が別に定める学修
- ④ 本学に入学する前に他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位

## (9) 大学院生による学部科目の履修申請

大学院生で学部科目の履修を希望する者は教務係に相談してください。

## (10) 大学院の長期履修制度

長期履修制度は職業を有している等の事情により、定められた修業年限では大学院の教育課程の履修が困難な方を対象に、修士課程の標準修業年限（2年）を超えた一定の期間で計画的に教育課程を履修し、修了することが認められる制度です。詳細は本学ウェブサイトより「福知山公立大学大学院長期履修規程」をご確認いただき、希望する場合は教務係に相談してください。

7. 授業科目の履修条件

授業科目の中には、事前に特定の授業科目の単位を修得していなければ、履修申請を行うことができないものがあります。これらの履修条件は、当該科目の内容を理解し、円滑に学修を進めるために設定されているものです。履修申請にあたっては、シラバスや本誌を確認するとともに、担任教員や指導教員に履修申請に関する相談を行い、履修条件を十分に理解したうえで、必要な単位を計画的に修得するようにしてください。

3年次配当の必修科目「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」および4年次配当の必修科目「卒業研究Ⅲ・Ⅳ」に履修条件を設けています。また、その他授業科目の履修条件については、各学期初めに実施するガイダンスで配布される「履修条件および人数制限科目、事後認定科目一覧」をご確認ください。

《 地域経営学部 卒業研究履修条件 》

		「卒業研究Ⅰ」の履修条件		「卒業研究Ⅱ」の履修条件		「卒業研究Ⅲ」の履修条件		「卒業研究Ⅳ」の履修条件	
		最低 修得単位数	修得科目	最低 修得単位数	修得科目	最低 修得単位数	修得科目	最低 修得単位数	修得科目
基盤教育科目	地域協働基盤教育科目群	6単位	・地域協働論 ・地域協働演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	6単位	・地域協働論 ・地域協働演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	8単位	・地域協働論 ・地域協働演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ・上記科目のほか、科目指定はないが2単位以上修得のこと	8単位	・地域協働論 ・地域協働演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ・上記科目のほか、科目指定はないが2単位以上修得のこと
	情報科目群	2単位	・科目指定はないが2単位以上修得のこと	2単位	・科目指定はないが2単位以上修得のこと	2単位	・科目指定はないが2単位以上修得のこと	2単位	・科目指定はないが2単位以上修得のこと
	汎用的学修能力育成基盤科目群	4単位	・科目指定はないが4単位以上修得のこと	4単位	・科目指定はないが4単位以上修得のこと	8単位	・アカデミック・リーディング ・アカデミック・ライティング ・上記2科目のほか、科目指定はないが4単位以上修得のこと	8単位	・アカデミック・リーディング ・アカデミック・ライティング ・上記2科目のほか、科目指定はないが4単位以上修得のこと
	統合知基盤科目群	6単位	・科目指定はないが6単位以上修得のこと	6単位	・科目指定はないが6単位以上修得のこと	8単位	・科目指定はないが8単位以上修得のこと	8単位	・科目指定はないが8単位以上修得のこと
	外国語科目群	4単位	・科目指定はないが4単位以上修得のこと	4単位	・科目指定はないが4単位以上修得のこと	6単位	・科目指定はないが6単位以上修得のこと	6単位	・科目指定はないが6単位以上修得のこと
専門教育科目	専門基礎科目群	18単位	・地域経営入門	・地域経営入門	32単位	・地域経営入門	・地域経営入門	32単位	・地域経営入門
	専門科目群		・上記科目のほか、科目指定はないが16単位以上修得のこと	・上記科目のほか、科目指定はないが16単位以上修得のこと		・上記科目のほか、科目指定はないが30単位以上修得のこと	・上記科目のほか、科目指定はないが30単位以上修得のこと		
	キャリア関連科目群		・上記科目のほか、科目指定はないが16単位以上修得のこと	・上記科目のほか、科目指定はないが16単位以上修得のこと		・上記科目のほか、科目指定はないが30単位以上修得のこと	・上記科目のほか、科目指定はないが30単位以上修得のこと		
	卒業研究科目群	-	-	2単位	・地域協働研究A・B及び地域協働プロジェクトA・Bのうち最低1科目	8単位	・地域協働研究A・B及び地域協働プロジェクトA・Bのうち2科目 ・卒業研究Ⅰ・Ⅱ	12単位	・地域協働研究A・B及び地域協働プロジェクトA・Bのうち2科目 ・卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

《 情報学部 卒業研究履修条件 》

		「卒業研究Ⅰ」の履修条件		「卒業研究Ⅱ」の履修条件		「卒業研究Ⅲ」の履修条件		「卒業研究Ⅳ」の履修条件	
		最低 修得単位数	要単位修得科目	最低 修得単位数	要単位修得科目	最低 修得単位数	要単位修得科目	最低 修得単位数	要単位修得科目
基盤教育科目	地域協働基盤教育科目群	8単位	・地域協働論 ・地域協働演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ・上記科目のほか、科目指定はない2単位以上修得のこと	8単位	・地域協働論 ・地域協働演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ・上記科目のほか、科目指定はない2単位以上修得のこと	10単位	・地域協働論 ・地域協働演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ・上記科目のほか、科目指定はない4単位以上修得のこと	10単位	・地域協働論 ・地域協働演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ・上記科目のほか、科目指定はない4単位以上修得のこと
	情報科目群	8単位	・科目指定はないが8単位以上修得のこと	8単位	・科目指定はないが8単位以上修得のこと	8単位	・科目指定はないが8単位以上修得のこと	8単位	・科目指定はないが8単位以上修得のこと
	汎用的学修能力育成基盤科目群	2単位	・科目指定はないが2単位以上修得のこと	2単位	・科目指定はないが2単位以上修得のこと	6単位	・アカデミック・リーディング ・アカデミック・ライティング ・上記2科目のほか、科目指定はないが2単位修得のこと	10単位	・アカデミック・リーディング ・アカデミック・ライティング ・上記2科目のほか、科目指定はないが6単位修得のこと
	統合知基盤科目群	4単位	・科目指定はないが4単位以上修得のこと	4単位	・科目指定はないが4単位以上修得のこと	8単位	・科目指定はないが8単位以上修得のこと	10単位	・科目指定はないが10単位以上修得のこと
	外国語科目群	4単位	・科目指定はないが4単位以上修得のこと	4単位	・科目指定はないが4単位以上修得のこと	6単位	・科目指定はないが6単位以上修得のこと	8単位	・科目指定はないが8単位以上修得のこと
専門教育科目	専門基礎科目群	24単位	・コンピュータプログラミングⅠ・Ⅱ ・コンピュータプログラミング演習Ⅰ・Ⅱ	・コンピュータプログラミングⅠ・Ⅱ ・コンピュータプログラミング演習Ⅰ・Ⅱ	34単位	・コンピュータプログラミングⅠ・Ⅱ ・コンピュータプログラミング演習Ⅰ・Ⅱ	・コンピュータプログラミングⅠ・Ⅱ ・コンピュータプログラミング演習Ⅰ・Ⅱ	48単位	・コンピュータプログラミングⅠ・Ⅱ ・コンピュータプログラミング演習Ⅰ・Ⅱ
	専門科目群		・数学科目2単位以上（微積・線形・演習）	・数学科目2単位以上（微積・線形・演習）		・数学科目4単位以上（微積・線形・演習）	・数学科目4単位以上（微積・線形・演習）		
	キャリア関連科目群		・上記科目のほか、科目指定はない16単位以上修得のこと	・上記科目のほか、科目指定はない16単位以上修得のこと		・上記科目のほか、科目指定はない21単位以上修得のこと	・上記科目のほか、科目指定はない34単位以上修得のこと		
	卒業研究科目群	-	-	2単位	卒業研究Ⅰ	4単位	・卒業研究Ⅰ・Ⅱ	8単位	・卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ